

序章

ステイバーン・ソンドラップ 3

(川本玲子訳)

第一部 比較詩学

あやめも知らぬ——同音異義の詩学に向けて

川本皓嗣 11

一 はじめに 11

二 序詞と主部の関係 (一) 14

三 序詞と主部の関係 (二) 18

四 同音異義性の誇示 (一) 21

五 同音異義性の誇示 (二) 23

六 「同音は同義」 27

七 曖昧な親近性 30

むすび 32

不忠な美人 (Belle infidèle)

孟 華 37

——ジュディット・ゴーチエの漢詩「翻訳」に関する一詩論——

(陳 凌虹訳)

- 一 はじめに 64
- 二 漢俳の誕生 65
- 三 口語漢俳の試み 71
- 四 漢俳の未来 80

穆木天の前期詩論における日本の影響

- 一 はじめに 88
- 二 大学時代における象徴主義世界への傾倒 89
- 三 「フランス文学の特質」と「純粹詩歌」 94

翻訳はいかに骨折するか、あるいは骨折をどう翻訳するか

——日本詩歌・藝術の非線状的説話構造の欧米言語における受容をめぐる設問——

- 一 はじめに——翻訳における「骨折」—— 102
- 二 翻訳学の盲点・問題の所在 106
- 三 翻訳という「みえざる骨折」 110
- 四 俳諧とエピグラム 112
- 五 水の音と意味の「切れ」 116
- 六 俳諧の不完全性と完全性 120

七 「切れ」が繋ぐ世界 123

八 「骨折」による意味の飛躍あるいは精神的な啓示? 126

九 文化伝播における「骨折」の研究——レヴィーストロスに抗して—— 129

一〇 異化の臨海——翻訳による「骨折」は意味の飛躍と精神の啓示を約束するのか?

Limit of «Verfremdung» — Fracture, a leap of meaning or a spiritual revelation? — 131

沖縄民謡「ていんさぐぬ花」と「アルカーデルトのアヴェマリア」

上垣外憲一 136

——聖なる歌詞と俗なる歌詞——

一 はじめに 136

二 沖縄の社会・文化史と「六論衍義」 137

三 沖縄民謡「ていんさぐぬ花」の歌詞 139

四 俗なる歌詞から聖なる歌詞への「替え歌」 143

五 「ていんさぐぬ花」の原歌詞の復元 150

おわりに 153

比較関連におけるノルディック・ケニング

ステイーヴン・ソンドラップ 157

(森 道子訳)

## 第二部 文化の翻訳

インターカルチャー——すばらしい新世界——

一 はじめに 175

二 「文化」とは 177

三 「異文化間的」——インターカルチュラルとは—— 183

四 「異文化内在的」——イントラカルチュラルとは—— 188

仏教のジェンダー平等思想——インド・中国・日本の比較——

一 はじめに 202

二 フェミニストからの仏教批判 203

三 インド仏教史の概略 206

四 原始仏典における女性観 207

五 ヒンドゥー社会の女性蔑視 211

六 小乗仏教における女性の地位低下 213

七 女性の出家に際する「八つの条件」への疑問 216

八 大乘仏教における女性の地位の回復 219

九 比丘・比丘尼・優婆塞・優婆夷から善男子・善女人へ 222

一〇 空の論理と性差 224

一一 インド仏教のまとめ 228

一二 中国・日本の受け止め方 229

ユージーン・オーヤン

(山中由里子訳)

175

植木雅俊 202

東アジア獅子舞の系譜

李 応寿 231

一 はじめに 231

二 日韓にまたがる五色獅子 232

三 玄界灘を渡った五色獅子 236

四 韓国の五色獅子の歴史 240

五 中国の五色とネパールの五色 243

おわりに 245

涙壺を求めて——ヨーロッパの聖書的東洋観とシリア派儀礼——

山中由里子 249

一 はじめに——モノと語り—— 249

二 ヨーロッパにおける涙壺 253

三 「私の涙をあなたの瓶に入れてください」 256

四 シリア派儀礼に聖書的古代観 257

五 ペルシア語文献にみる涙壺 260

おわりに 264